

読書を楽しみ、本を通じて コミュニケーションをはかろう！

小学全学年 図書委員会活動、委員会担当企画
「家族読書」「本の題名しりとり」「読書パズル」
読書活動促進・啓発

ねらい

- 家族や友だちと読書を楽しみ、本を通じてコミュニケーションを活性化する。
- 友だちと協力して、図書館で本を借りパズルピースを集めてパズルを完成させたり、本の題名しりとりをしたりする。図書館には色々な本があることや配架を知る。

学習展開

- ① 「家族読書」や「本の題名しりとり」「読書パズル」に興味をもってもらえるよう、図書委員がイベントや常時活動についてポスターや学校放送、全校朝会で全校児童へ呼びかける。
- ② 全校児童が見通しをもち、自分の参加課題を決定できるように、図書委員がやり方や手順を劇化して録画する。
- ③ 給食時間、各教室の電子黒板に掲載した映像でイベント内容を知らせる。
- ④ 児童に参加を募り、実際にイベントを運営する。
- ⑤ まとめと振り返りをする。

◆委員会担当と学校司書の関わり

- 図書委員会担当（司書教諭も含む）は、委員会の時間に決定した内容を実行に移す支援として台本を作る。学校図書館で撮影をする。
- 図書委員会担当は、学校司書と打ち合わせをして、連携を図りながら図書委員に助言する。
- 図書委員会担当は、児童用ワークシート、しおり、エントリーシート、読書パズルの用意をする。
- 学校司書は、選書について児童にアドバイスし、見通しをもたせる。学校司書と司書教諭は、児童の自発的な取り組みを価値づけ、掲示物やまとめのプレゼンテーション、図書館便りなどで紹介する。



図書委員の活動



読書パズル



学校図書館での1年生「本の題名しりとり」の様子

★指導のポイント

- ◆ 家族（親・祖父母・兄弟姉妹）や学年・学級に協力をお願いする。

資料

伯耆町「『うち読』のすすめ」、二部小学校の「親子読書のしおり」